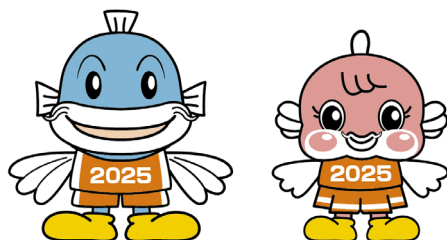


滋賀県 感染症対策総合訓練の結果概要



滋賀県
(知事公室・健康医療福祉部)



滋賀県感染症対策総合訓練の概要

	対策本部員会議設置運営訓練	県内発生時初動対応訓練
実施日時	令和6年11月27日（水） 13:30～14:40	令和6年11月21日（木） 10:00～17:00
実施形式	机上訓練	実動訓練
主な参加者 （所属・機関）	知事、副知事、本部員（各部局長等） 関係課職員 （広報部門、防災部門、感染症対策部門）	県（本庁所管課、県設置保健所、地方衛生研究所） 県警察本部 保健所設置市（保健所、消防局） 第一種感染症指定医療機関
概要	<想定> 政府訓練シナリオ（国内発生1例目判明後の第2回政府対策本部会合・第2回都道府県緊急連絡会議）の直後を想定し、第2回県対策本部員会議を実施。 <内容> ・情報共有および対応方針、県民へのメッセージについて協議	<想定> 国内発生直後に、県内で健康監視対象者および他県陽性患者との接触者の発熱が判明。 <内容> ・保健所が調査を行い、疑似症として入院勧告 ・消防と連携し患者を第一種感染症指定医療機関に移送 ・検体採取後、警察と連携し国立感染症研究所まで検体搬送
ポイント	本部員会議終了後の「地元記者も参加した知事囲み取材訓練」を実施。（報道記者が知事に質問する形式）	疑い患者覚知から入院、検体搬送までの一連の流れを初動対応として実施。

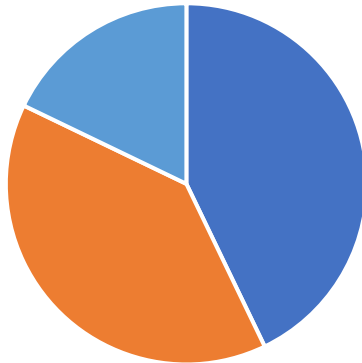
対策本部員会議設置運営訓練風景

地元記者も参加した知事囲み取材訓練



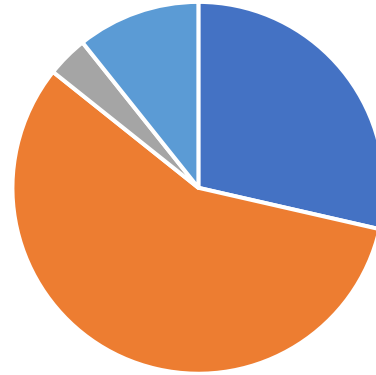
対策本部員会議設置運営訓練 アンケート結果

自所属が対応すべき事項
を理解できたか



- 理解できた
- ある程度理解できた
- 未回答

訓練全体をととしての評価



- とてもよかった
- よかった
- あまりよくなかった
- 未回答

アンケート結果概要

- ☑自所属が対応すべき事項について、回答者全員が、「理解できた」、「ある程度理解できた」を選択（未回答者を除く）
- ☑訓練全体をととしての評価について、「とてもよかった」、「よかった」が約9割

自由記載欄一部抜粋

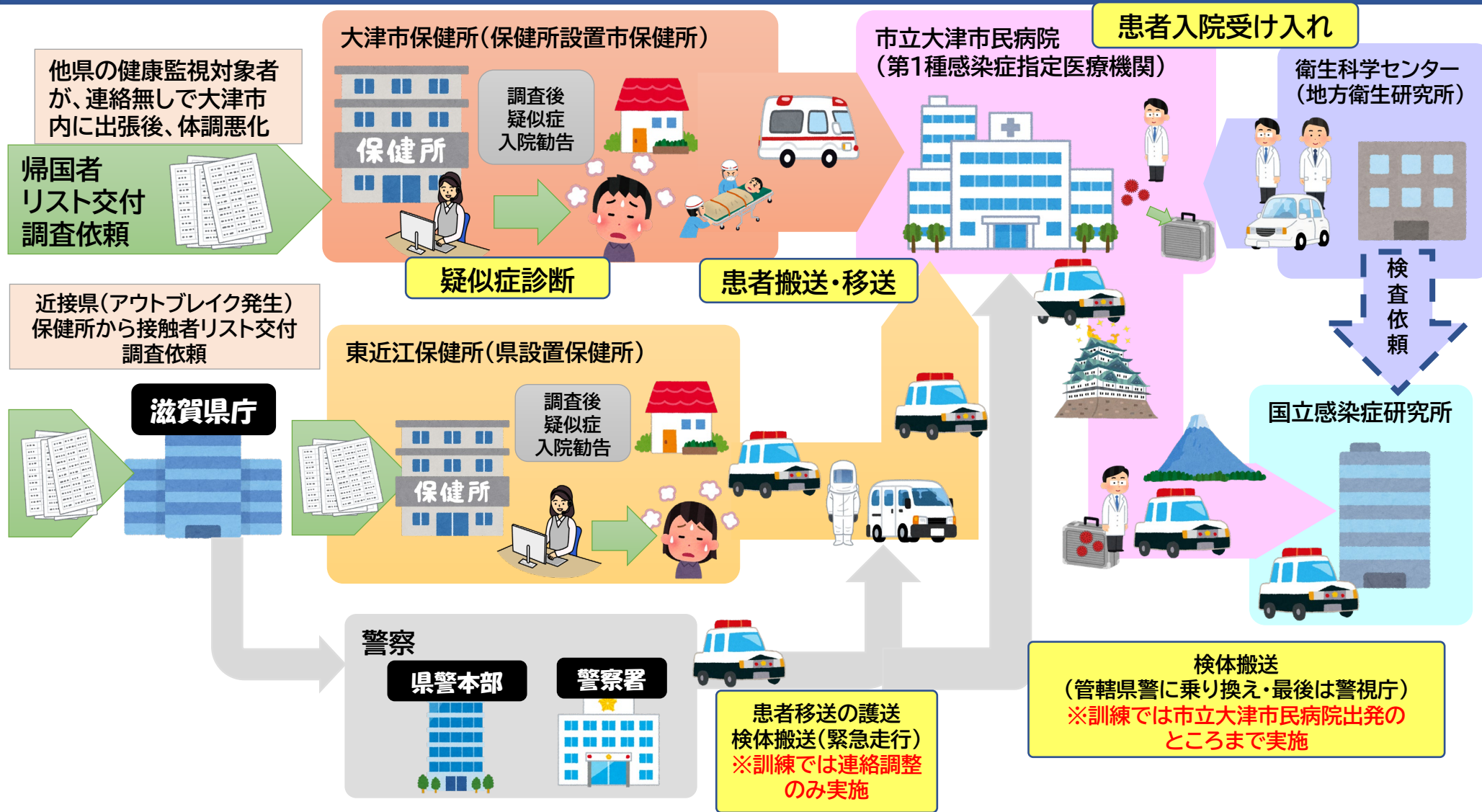
良かった点

- ・事前の準備過程において、発生時の対応をイメージできた。
- ・コロナ対応時の教訓に関する話も交えながら訓練が進行されていた。
- ・報道機関の記者に訓練参加いただいたことで、マスコミが何を知りたいか（情報提供、公表、メッセージ）を確認できた。

改善点

- ・コロナ対応を踏まえて改善したこと、工夫したことが理解できる形の資料・訓練となるよう工夫が必要。
- ・今回訓練で知事が総務部長にBCPを発動指示したが、これを円滑に発動できるようにするためには、事務分掌を策定する段階からどれが削れるのか、記載しておくべき。
- ・会議にかける労力をできるだけ少なくする工夫が必要。ポイントを絞った会議にし、マンパワーが限られる中、情報共有だけでなく、何を決めるための会議なのかを予め示すことが重要。
- ・実務担当部長の報道対応訓練も必要。（知事は会見に慣れているが、職員はそうではない。）
- ・県内発生時にどこまで情報を出すのか、県としてルールを作成し、有事に備えておくことが重要。

県内発生時初動対応訓練全体イメージ



- ①国内発生直後に、他県の保健所から帰国者リスト(健康監視対象者)・接触者リストの提供があり、管轄保健所が調査
- ②管轄の大津市保健所・東近江保健所が調査したところ、新型インフルエンザの症状を確認し、疑似症として診断
- ③市立大津市民病院に入院勧告後、入院実施のため患者を移送(搬送)し、検体は国立感染症研究所へ搬送

県内発生時初動対応訓練構成

東近江保健所・県庁会場

①10:15～11:30
疑似症（軽症者）対応訓練

②14:30～15:00
疑似症（軽症者）移送訓練

大津市保健所会場

③12:45～14:00
疑似症（重症者）対応・移送訓練

大津市民病院会場

④14:15～16:00
疑似症（重症者）入院受け入れ対応訓練

⑤15:15～16:00
疑似症（軽症者）入院受け入れ対応訓練

⑥16:00～16:15
検体引き受け・警察連携による検体搬送

訓練実施日タイムスケジュール

時間割	内容	メイン会場
10:00 ～10:15	訓練開会挨拶 オリエンテーション	県庁危機管理センター
10:15 ～11:30	疑似症(軽症者)対応訓練	県庁危機管理センター (東近江保健所)
11:30 ～12:30	(～昼休み～)	
12:30 ～12:45	<県庁～大津市保健所の移動>	
12:45 ～14:00	疑似症(重症者)対応訓練	大津市保健所
14:00 ～14:15	<大津市保健所～市立大津市民病院の移動>	
14:15 ～16:15	疑似症(重症者・軽症者)入院受け入れ対応訓練	市立大津市民病院
16:15 ～16:45	訓練振り返り・訓練閉会挨拶	市立大津市民病院

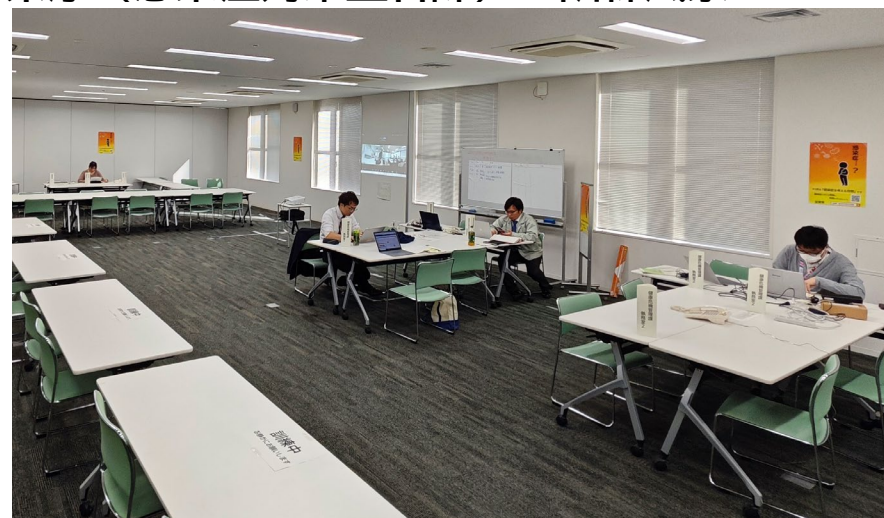
県内発生時初動対応訓練風景①

東近江保健所・県庁会場

保健所 訓練風景



県庁（感染症対策主管課） 訓練風景



県庁 評価者・見学者 視察部屋



軽症患者 感染症対策移送車収容



県内発生時初動対応訓練風景②

大津市保健所会場（保健所設置市）

重症患者のアイソレーター収容（消防と連携）



救急車収容



大津市民病院会場（第一種感染症指定医療機関）

救急車から感染症ERへ



感染症ERでのCT検査



県内発生時初動対応訓練風景③

大津市民病院会場（第一種感染症指定医療機関）

感染症ERから感染症病床へ



重症患者の感染症病床での処置



軽症患者の感染症病床移動



検体引き渡し・内容確認



警察車両による感染研への検体搬送



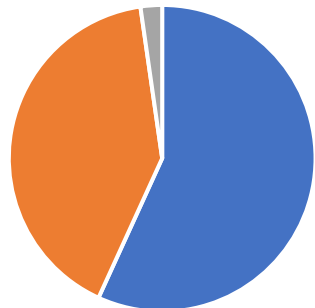
訓練 見学者 視察部屋



県内発生時初動対応訓練

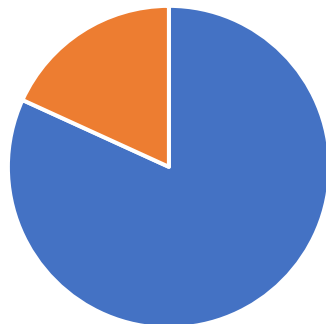
アンケート結果

初動対応を
理解できたか



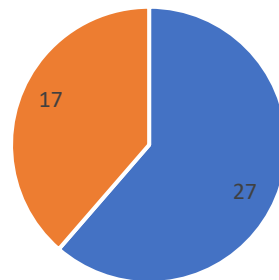
- 1. 理解できた
- 2. ある程度理解できた
- 3. あまり理解できなかった

他機関との連携の
必要性について



- 1. 必要性を強く感じた
- 2. 必要性を感じた

訓練全体をとおして
の評価



- 1. とてもよかった
- 2. よかった

アンケート結果概要

- ☑初動対応について、「理解できた」、「ある程度理解できた」が9割超
- ☑他機関との連携について、「必要性を強く感じた」が約8割、「必要性を感じた」が約2割
- ☑訓練全体をとおしての評価について、「とてもよかった」が約6割、「よかった」が約4割

自由記載欄一部抜粋

訓練全体をとおしての 改善点	・ 疑似症患者情報を共有する範囲・考え方が、県型保健所と市型保健所で異なっていたため、混乱が生じないか懸念されるため、情報共有の考え方を県下で統一すべき。 ・ 行政が感染症疑いの患者を覚知してから保健所の対応を理解しておくことも重要だと思いますので、今後は病院職員も保健所の訓練を視察できるようにしてほしい。
今後の感染症危機に備えるため、どのような訓練が有効だと思うか	・ 今回のような初動対応は有事に着実に実施できる必要があり、診療に携わらない部署であっても、患者に接する機会がある部署にも参加を促していくことが重要。 ・ 今回と同様に、各保健所の流れを確認・理解するとともに、どのように患者が運ばれてきたときに対応するか、感染症指定医療機関に考えてもらうものを継続していくことが重要。 ・ 社会福祉施設でのアウトブレイク対応や入院待機施設の準備、患者数増加に伴う検査体制整備など、まん延期を想定した訓練も必要。 ・ 医師会や診療所との連携訓練、宿泊療養施設の運営訓練、自宅療養者の体調急変時対応など。